

1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7 冬季休業日終	8 始業式 給食始 委員会	9 計測1、6年	10 席書会	11
12	13 成人の日	14 安全指導 書初め展(~18日) 計測3、4年 挨拶1	15 漢字 計測2、5年 挨拶2	16 計算 薬物乱用防止教室6年 挨拶3	17 百人一首 学校公開 漢字検定⑤ Enjoy Music4年② 能5、6年③④挨拶4	18 道徳授業地区公開講座 挨拶5
19	20 朝会 挨拶6	21 集会 挨拶7	22 漢字 挨拶8	23 計算 挨拶9	24 百人一首 挨拶10	25
26	27 朝会 挨拶11	28 音楽朝会 挨拶12	29 漢字 クラブ見学 挨拶13	30 計算 Enjoy Music4年 挨拶14	31 百人一首 挨拶予備日	

今月の避難訓練は、予告なしで行います。

1月の生活目標 「最後まで しっかり聞こう」

- ・自分の意見をもちながら聞こう
- ・感想や質問が言えるようになろう



南山小学校 学校だより

1月号

令和2年 1月8日
港区立南山小学校
校長 難波 明夫

「チーム南山」 ～新春にあたり～

今年の元旦は、澄み切った青空に包まれて、穏やかな新年の幕開けとなりました。保護者の皆様、地域の皆様、新年おめでとうございます。

昨年は、本校の教育活動に深いご理解とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。新年を迎え、南山小学校教職員一同、子供の健やかな成長のために、一層の努力を重ねてまいります。

【学びのスタンダードと南山スタイル】

保護者からの学校評価アンケートの回収率は97%となりました。皆様のご協力に感謝いたします。集計結果については、2月下旬にお知らせします。

本校では、以前よりありました「学びの姿勢」を見直し、確実に身に付けさせたい学習習慣や学習規律を示した「学びのスタンダード」を作成しています。本格的な取組は4月からを予定していますが、全校共通の指導項目として、学力の向上と密接な関わりのある学習習慣や学習規律の定着を目指します。

子供にとって「ひとつひとつの知識がつながり、『分かった』『おもしろい』と思える授業」「見通しをもって粘り強く取り組む力が身に付く授業」「周りの人たちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業」「自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業」等、新たな南山スタイルの授業を構築、展開し、学習効果の最大化を図ってまいります。

【4月から新しい学習指導要領が始まります】

今回の改訂には、次なる願いが込められています。「学校で学んだことが子供たちの『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を共に創っていきたい。」(文部科学省ホームページより)

今年度、本校は生活科や理科を中心に「思考力」「判断力」「表現力」の育成に関する研究をすすめてきました。その成果と課題を検証し、さらなる教育活動の充実に向け、令和2年度の教育課程に学習指導要領の趣旨を反映させていきます。

【2020東京オリンピック・パラリンピックの開催】

いよいよ7月24日、8月25日に待ちに待った開会式を迎えます。本校は、8月28日、29日、9月1日にパラリンピックの陸上競技を新国立競技場で参観をする予定です。

大会の目標である「平和でよりよい世界の構築に貢献する」ことを踏まえ、子供は「オリンピックやパラリンピックのことを知る」「スポーツに対する興味や関心を喚起する」「アスリートとの交流」「参加国について調べる」などの学習に取り組んできました。オリンピック・パラリンピック教育で学んできたことを基に大会が子供たちにどのような夢と感動を与えてくれるのか、今からとても楽しみです。未来に語り継がれる大会となることを願っています。

「チーム南山」は、今年も力強く前進していくことを令和2年初春の決意とし、引き続き「どの子も伸びる 学びの南山小」～世界にはばたく人づくり 地域とともに歩む学校づくり～に取り組んでまいります。本年も、何とぞよろしく申し上げます。

盲導犬キャラバン体験

4年担任

4年生は総合的な学習の時間に、誰にとっても住みやすい町とはどんな町なのかを考える「みんなが住みやすい町」の学習に取り組んできました。今回、日本盲導犬協会から講師・盲導犬ユーザーの方をお招きし、視覚障害のことや盲導犬について詳しく教えていただきました。平成14年に身体障害者補助犬法が施行され、補助犬の受け入れが義務付けられたそうですが、その理解が進まず、盲導犬の入店拒否や乗車拒否が繰り返されているという現状があることを知りました。また、実際に盲導犬ユーザーの方を案内する手引き歩行を体験させていただいたり、盲導犬やユーザーの方の生活についてさまざまな質問にも答えていただいたりすることもできました。今回の学習を通して、子供たち一人一人が誰にとっても住みやすい町にするために、自分たちにできることを深く考えるよい機会となりました。



ふれあい取組発表

養護教諭

東京都教育委員会では、6月・11月・2月を「ふれあい月間」とし、いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動・不登校等の未然防止やその対応に係る取組の充実を図っています。

本校では、「いじめについて考えよう」をテーマとし、各学級で道徳などの時間を活用し「いじめ」について考える時間をもちました。考え、話し合った内容を12月2日の「ふれあい月間取り組み発表」の場で学年ごとに発表を行いました。

近年、聞いていて心が痛くなるような事件を聞くことが多い気がします。そんなニュースを聞いたときに、人と人との関わり、子供たちの心を育てることが大切だと感じます。ふれあい月間の取り組みを通して、「ありがとう」「うれしいよ」といった自分が言われて嬉しくなるような「ふわふわ言葉」をかけることが増えたり、優しい心で接したりすることの大切さを実感してほしいと思います。



本校の校内研究について

研究主任

本校では、「自ら考え、かかわりを深め、豊かな学びを創り出す子供の育成」という研究主題のもと、校内研究を進めてきています。昨年度から、理科、生活科を通して、主体的で協働的な学習を積み重ね、思考力、判断力、表現力を伸ばすことができるように、各学年が研究授業を行っています。

例えば、6年生では「人や他の動物の体」の単元で、「取り入れた食べ物は、口の中でどのように変化していくのか」ということについて、子供たちなりに仮説を立てるところから学習が始まりました。そして、根拠を明らかにした仮説をもとに実験方法を考え、検証していきました。実験の結果、人間の唾液にはでんぷんを違う物質に変える働きがあるということ考察し、まとめました。これらの学習活動で大事にしていたことは、「主体的で協働的な学び」であり、それによって「思考力、判断力、表現力」を身に付けさせることをねらっています。また、このような学習活動を、研究授業だけでなく年間を通して展開しています。

1学期、2学期と過ぎた今、子供たちには、自分の考えをもちそれをお互いに表したり、受け止めたりしながら、さらによりよいものにしていこうという、一連の学習の流れが定着しつつあります。しかし、その度合いにはやはり個人差があり、これからの課題となっています。今年度の研究成果を3学期末にまとめ、さらに課題を明確にすることで、南山小の研究活動は充実し、次年度へのビジョンも見えてきます。

